



# 平和首長会議ニュース

2022年5月 / 第149号

## 平和首長会議加盟都市数

166 国・地域 8,161 自治体

**加盟都市数 10,000 都市を  
目指しています！**

日本国内加盟自治体数：1,737

(2022年5月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/ja/>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

### <<今号の内容>>

- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2022の応募をお待ちしています
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 166国・地域 8,161自治体
- ◆平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和教育の取組事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆広島市立大学からのお知らせ
- ◆広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

## ■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2022の応募をお待ちしています

平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、世界166か国・地域の8,100を超える加盟都市の6歳以上15歳以下の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト2022を実施し、作品を募集します。

### 子どもたちによる“平和なまち” 絵画コンテスト2022



作品募集中

- 募集部門: ①「6歳～10歳の部」  
②「11歳～15歳の部」
- 応募点数:  
1都市につき各部門最大5作品まで
- 提出期限: 2022年10月31日 17時
- 作品提出・問い合わせ先:  
(Email) [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

🔗 絵画コンテストの詳細については、平和首長会議のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2022/post-220420-2/>

絵画コンテストへの参加自治体が応募作品の展示を行った事例をご紹介します。

## ●千葉県佐倉市

佐倉市は、未来を担う子どもたちに平和について考えてもらうため、平和首長会議が主催する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」に2019年から参加しています。

2021年は、2部門合わせて13作品の応募があり、2022年3月24日～4月7日に佐倉市役所ロビーで作品展を開催しました。また、3月24日、25日には、2017年にウクライナの子どもたちが描いた「キッズゲルニカ」(ピカソが反戦の思いを込めて描いた「ゲルニカ」と同じ、縦3.5メートル、横7.8メートルの作品)も同時に展示しました。

ウクライナと佐倉市の子どもたちの平和を願う思いが、ご覧いただいた多くのかたの心に届いたことと思います。



写真提供: 佐倉市

### <<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

### ■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします

平和首長会議では、活動の活発化と連帯意識の強化を目的に、2013年8月の第8回総会においてメンバーシップ納付金制度の導入を決定し、2015年度から1自治体当たり年額2,000円の負担をお願いしています。本年度分の納付期限は6月30日(木)ですので、ご対応をお願いします。

なお、自治体判別のため、振込に当たり、振込人名の前に「全国地方公共団体コード」の入力をお願いします。「全国地方公共団体コード」の入力が難しい場合は、お手数ですが、振込日と振込人名を平和首長会議事務局までメールでお知らせください。

皆様のご協力をお願いいたします。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

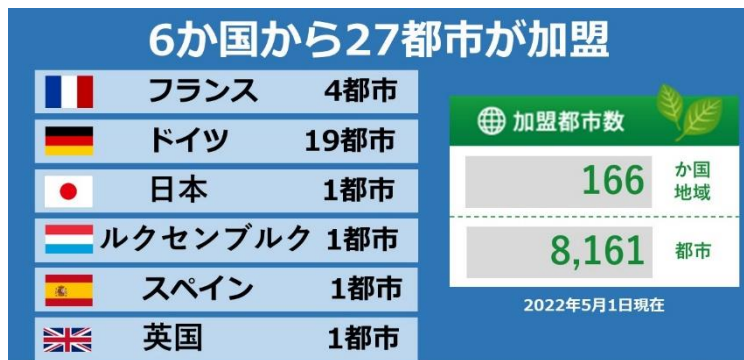
▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====  
**■平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,161自治体**  
 =====

5月1日付で、27自治体が加盟し、加盟自治体数は8,161都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市名	合計	備考
フランス	ボヌーイ＝シュル＝マルヌ等 4都市	166	副会長都市及びリーダー都市であるマラクフ市の呼びかけにより加盟。
ドイツ	バート・ヴェリスホーフエン等 19都市	807	副会長都市及びリーダー都市であるハノーバー市の呼びかけ等より加盟。
日本	東通村(青森県)	1,737	会長からの加盟要請文を送付したことにより加盟。国内全自治体加盟まであと4都市。
ルクセンブルク	スタンフォール	63	
スペイン	バルセロナ(県)	399	副会長都市及びリーダー都市であるグラノラズ市の呼びかけにより加盟。
英国	トッドモーデン	85	副会長都市及びリーダー都市であるマンチェスター市の呼びかけにより加盟。



加盟都市数**10,000都市**を目指しています！

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！

5月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2022/file-newmembers2205\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2022/file-newmembers2205_jp.pdf)

加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07\\_membership\\_by\\_country\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf)

=====  
**■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください**  
=====

昨年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF):  
[http://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX\\_Vision\\_Action\\_Plan\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan_jp.pdf)

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):  
<http://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



=====  
**■平和教育の取組事例を募集しています**  
=====

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

🔗 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):  
<http://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp) TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452



=====  
**■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内**  
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。なお、この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。



また、被爆樹木二世を活用した取組(植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など)がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

 被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード:

<http://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/tree/>

=====  
**■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第91回)**  
=====

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

原爆資料館を訪れ、本館入り口付近で縦3・8メートル横2・7メートルに大きく引き伸ばされた写真を見ながら強い印象を受けた人もいないでしょうか。木立の向こうに、原爆の巨大なきのご雲が立ち上っています。元中国新聞社記者の山田精三さん(93)＝広島県府中町＝が、同町の水分峡(みくまりきょう)で撮影しました。

山田さんは先だって、その時に使ったカメラを中国新聞社に寄贈しました。原爆のさく裂から2分後にシャッターを切ったとみられ、地上から捉えた原子雲としては最も早い写真記録とされています。

当時17歳で、夜間中学に通いながら中国新聞社でアルバイトをしていました。山田さんは数日後、広島市内に足を踏み入れて惨状を目の当たりにします。「人間をあぶり殺したようなもんじゃ。ひどいことをしよるのう」と怒りがこみ上げてきたそうです。爆心地から約900メートルの中国新聞社屋も全焼しました。原爆の後遺症で「外見はけがをしとらんのじゃけど、死んだ人もようけおった」。社員114人が亡くなりました。

カメラを寄贈したのは、撮影された写真を通して「100年後に見た人が、これが広島に落ちた原爆じゃということを知ってほしいから」。核兵器の使用がもたらす、あまりに非人道的な結末。100年後だけでなく、ウクライナが侵略され、核による脅しが現実のものとなっているこの瞬間に、世界に知ってほしい事実です。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

平和首長会議の加盟急増 ウクライナ侵攻受け賛同広がる 1日に新たに70都市

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=118192>

『記憶を受け継ぐ』 児玉三智子さん—腕の中でいとこみとる

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=118122>

核廃絶へ新組織発足 広島県 国内外NGO結束 次期国連目標狙う  
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=118280>

[ウクライナ侵攻 被爆地の視座] 日本被団協代表委員 田中熙巳(てるみ)さん(89)  
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=118117>

原爆資料館 入館23%増 21年度 40万人 団体やや回復  
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=118415>

[ヒロシマの空白 証しを残す] きこの雲撮影カメラを寄贈 中国新聞社へ元社員山田精三さん  
爆発2分後捉える  
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=118398>

=====

**■広島市立大学からのお知らせ:**  
**広島平和研究所がニュースレター『HIROSHIMA RESEARCH NEWS』第24巻第2号を発行**  
[広島市立大学広島平和研究所提供記事]

=====

広島平和研究所(以下、平和研)は、2022年3月にニュースレター第24巻第2号(通巻61号)を発行しました。本号には、特別寄稿と4本の短編論文が収録され、「新刊紹介」及び「活動日誌」も掲載しています。

『『平和』を目指すあらゆる活動に門戸を開こう——広島平和研究所の歩みと存在意義』と題する特別寄稿は、平和研発足の際に最初の研究員として採用され、2021年度末で定年退職された水本和実教授が、平和研の足跡を歴代所長ごとに振り返ったものです。

「フランス人がみた小野田元少尉」と題する論文は、フランス人ベルナール・サンドロンらが書いた本『ONODA 30年の孤独な戦い』を、その執筆の契機や調査活動を軸として、著者サンドロン氏への聞き取りを基に紹介しています。

「原爆と故郷」と題する論文は、故郷の広島に戻ってきた筆者が生まれ育った安佐南区緑井に足を運び、故郷に残る歴史資料や身近な遺構からも原爆の被害や戦争の痕跡を確かめ、今後の研究に繋げたいと綴っています。

「アフガニスタン情勢とロシア」と題する論文は、ソ連／ロシアとアフガニスタンとの関係の歴史を振り返り、現在のプーチン政権とターリバーンとの関係を論じたものです。

「戦争から平和へ」と題する論文は、筆者がなぜ33年間勤めた新聞社を退職し、博士後期課程の学生として再出発したか、その経緯を振り返っています。

また、「新刊紹介」では、広島市立大学広島平和研究所編『アジアの平和とガバナンス』(有新堂高文社、2022年3月)と、平和研教授ロバート・ジェイコブズ著『Nuclear Bodies: The Global Hibakusha』(イエール大学出版局、2022年3月)の2冊を取り上げ、巻末には研究員の動静を紹介する活動日誌が掲載されています。

本ニュースレターの電子版は、広島平和研究所のウェブサイトからダウンロードできます。

(徐 顕芬・広島平和研究所准教授)

 『HIROSHIMA RESEARCH NEWS』 第24巻第2号  
[https://www.peace.hiroshima-cu.ac.jp/2022/?post\\_type=newsletter](https://www.peace.hiroshima-cu.ac.jp/2022/?post_type=newsletter)

=====  
**■広島市立大学からのお知らせ:HIROSHIMA and PEACEオンライン連続講座開催のご案内**  
=====

広島市立大学では、2003年以降、夏季講座 HIROSHIMA and PEACE を毎年開催してきました。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、2022年夏に関しましては、昨年度同様オンライン連続講座を開催します。参加者は現在募集中です。詳細は以下の通りとなります。みなさまのご応募お待ちしております。

6月18日（土） 16：30－18：00（日本標準時）  
講演タイトル：Hibakusha Testimony in English  
講師：Keiko OGURA

6月25日（土） 16：30－18：00（日本標準時）  
講演タイトル：International Understandings of Atomic Bombing in Hiroshima:  
Salvation or War Crime?  
講師：Yasuhiro INOUE (Professor, Faculty of International Studies, Hiroshima City  
University)

7月2日（土） 16：30－18：00（日本標準時）  
講演タイトル：Forgotten Cannon Sites in Miyajima: Remembering and Forgetting in  
Hiroshima  
講師：Yoshiaki FURUZAWA (Associate Professor, Faculty of International Studies,  
Hiroshima City University)


7月9日（土） 16：30－18：00（日本標準時）  
講演タイトル：Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons: Why it matters today  
講師：Akira KAWASAKI (International Steering Group member, ICAN/Executive  
Committee member, Peace Boat)

- 開催形態:Zoomウェビナー
- 使用言語:英語
- 申し込み必要・参加費無料
- 申込URL:<https://forms.gle/U7jp1voPmuYZkHmw5>
- お問い合わせ先:広島市立大学HIROSHIMA and PEACE事務局  
(Email) [Hiroshima-and-Peace@m.hiroshima-cu.ac.jp](mailto:Hiroshima-and-Peace@m.hiroshima-cu.ac.jp)
- プログラム・ウェブサイト:<https://intl.hiroshima-cu.ac.jp/hiroshima-and-peace/>
- 公式Instagramアカウント:[@hiroshima\\_and\\_peace\\_official](https://www.instagram.com/hiroshima_and_peace_official)

=====  
**■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」  
について**  
=====

核兵器禁止条約は昨年1月22日に発効し、現在61か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙  
<http://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>

\*\*\*このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*


## 平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5  
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課  
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452  
Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。


<http://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

### 【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉 

<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉 

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！